

懸け橋

第12号 2019年1月

船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと



新春に寄せて

船橋市医師会副会長 高澤 努



「若いぬればさらぬ別れのありといへばいよいよ見まほしき君かな」

人は誰しも年老います。

年老いて最期を迎えるときに、今までの人生で築き上げた一番大切なもの「家族・家庭」と別れることは、とてもとても悲しいことです。

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域内で自分らしい生活を可能な限り最期まで送れるようにサポートを行うためには、既存の介護職のみではどうしてもマンパワーが不足します。

当然この問題には人口構成・高齢化率など地域差があります。各々の市町村が中心となり地域の実情に合わせて最適化して、地域の力と多職種でカバーして医療・介護・予防・生活支援を一体的に供給しようという仕組みが地域包括ケアシステムです。

その実現のためには、介護職や医療関係者などの多職種が連携していく必要があります。地域包括支援センターやケアマネジャーがそのための仲介役として重要な役割を果たします。

在宅医療連携拠点である船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーとは、地域包括支援センターや居宅介護事業所への助言や支援、医療機関への退院・調整の支援を行うことにより、医療・介護の協働のハブとなるべく設立されました。

我々医療サイドから見た在宅医療の問題点は、個人開業医の1人の医師が24時間365日対応するのがさぶる困難という点です。機能強化型の在宅診療・病院は体制構築が可能ですが、強化型は看取りなどの要件が厳しいというのが現状です。さらに後方ベッドの確保を含め多職種が連携できる体制の構築が、地域包括ケアシステムにおける在宅医療に必要な不可欠なのです。

ふなぽーとには、この多職種連携の体制構築という困難なタスクの達成が期待されています。

「世の中にさらぬ別れのなくもがな千代もといのる人の子のため」

船橋市医師会は、船橋市における地域包括ケアシステムの構築に積極的に関与することを通じて、一番大切なもの「家族・家庭と過ごす時間」を守ってきたいと考えています。

今後とも船橋市医師会と船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーとを、宜しく願い申し上げます。



在宅医療支援拠点ふなぽーと 総括者だより

訪問看護認定看護師 佐々木 ゆかり

着任のご挨拶

今月よりふなぽーとに新しく着任いたしました。在宅分野では訪問看護師として15年、退院支援看護師として4年、地域で活動してまいりました。

これまでの経験を活かし、市民の方の相談はもちろんですが、専門職の方々が担当している医療依存度の高いケースや困難事例等も一緒に考えさせていただけたらと思っています。

超高齢社会を迎え、複数の疾患を抱えている方も多くいらっしゃいます。

医療の選択肢も多くなり複雑化を実感しています。

意思決定を重視し主体的に疾患と向き合えるような支援を心がけています。

地域のみならず、さらに「ふなぽーと」が成長できます

ようにこれからがんばります！ どうぞよろしくお願いいたします！



趣味はフラダンス、動物好き、音楽好き、旅行好き、美味しいものが好きです



市民公開講座を開催します

第3回船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと 市民公開講座 地域みんなで考える在宅療養

【日 時】平成31年2月16日(土曜日) 14:00~16:30(13:30開場)
【会 場】船橋市宮本公民館(船橋市本宮本6-18-1 宮本児童ホーム併設)
【定 員】250名(市内在住・在勤・在学の方) 【参加費】無料

＜開催内容＞
船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーとの取り組みについて
【講 演】 松本 淳 船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと 総括者

1. 基調講演：在宅ひとり死 (eChizuko Ueno) を阻む10の壁
【講 師】 上野 千鶴子 氏
社会学者・東京大学名誉教授
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長
1948年富山生まれ。京都大学大学院社会学部博士課程修了。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人権学専攻助教授、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボストン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコシカゴ大学客員教授等を経て。
1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2011年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な役割のひとり。近年、高齢者の介護とケアの分野に研究領域を拡大している。
1994年『近代家族の成立と崩壊』(徳成書房)でサンデー学芸賞受賞。
2011年度、『朝日賞』受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」

【座 長】 林 昌樹 医師 一般社団法人 船橋市医師会 在宅医療委員長

2. ミニ音楽会
【出演者】 松本 淳樹 氏 チェリスト・作曲家・プロデューサー
齋藤 大 氏 ピアニスト・作曲家
【進 行】 荒川 一朗 医師 一般社団法人 船橋市医師会 理事

主催：船橋市(在宅医療支援拠点事業) 事業受託者：一般社団法人船橋市医師会



本年もよろしく
お願い申し上げます。



担当者一同

一般社団法人船橋市医師会受託事業 船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと

〒273-8506 船橋市北本町1-16-55
船橋市保健福祉センター1階

TEL: 047-409-1736

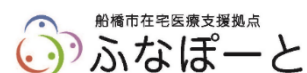
FAX: 047-409-1912

Mail: info@funabashi-zaitaku.com

HP: <http://www.funaport.com/>

運営時間 平日午前9時～午後5時
(土日祝・年末年始はお休み)

★お気軽にお問い合わせください。



＜日時＞平成31年2月16日(土)

午後2時～午後4時30分(午後1時30分開場)

＜会場＞船橋市宮本公民館(船橋市本宮本6-18-1)

＜定員＞250名(市内在住・在勤・在学の方)

＜参加費＞無料